

○本時に育成したい資質・能力

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

根拠を基にして予想を立て、予想が正しいかどうかを明らかにする活動を通して、論理的に確かめ表現することができる。

二つの側面

A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力

B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス

①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す

②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する

③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

A① ①

B② ④

A② ⑤

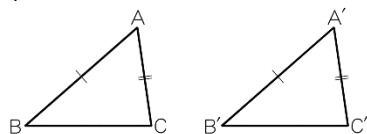
A③ ⑥⑦

○本時のめあて

合同になるための残りの1組を見つけよう

○本時の展開 (めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画等)

① 「あと、どこが等しければ、合同になる？」

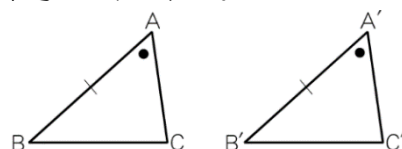


- ・これだけでは合同と言えない。
- ・ $BC = B'C'$ …他にもある？
- ・根拠は何だろう？

② めあてを確認し、見通しをもつ。

- ・残りの1組を見つけることで、論理的な思考を身に付けよう。

③ 課題1に取り組む。

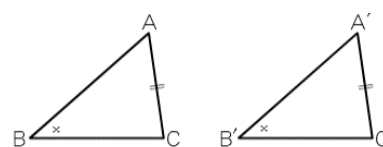


- ・根拠は何だろう？
- ・全部でいくつあるんだろう？

④ 他者と学び合う。

- ・三角形の合同条件を基にして考えると残りの1組が分かる。
- ・根拠をもらさずに書くことが大切だ。

⑤ 課題2に取り組む。

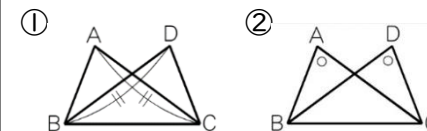


- ・無意識のうちに根拠を使うことがないように注意しよう。
- ・3つ目の答えはある？
- ・答えがないということは根拠がない。
- ・根拠を基にして考えることで答えが見つかる。

⑥ 学びをまとめる。

- ・予想は根拠を基にする。
- ・予想が正しいかどうかは根拠を基にすれば分かる。

⑦ 発展課題に取り組む。



- ・3つ目の答えはある？ない？
- ・対頂角などの既習の性質も根拠として使える？